



2022年3月期

決算説明

証券コード：7868

1 2022年3月期 業績サマリ

(単位：百万円)

	2022年 3月期	2021年 3月期	前年同期比		2022年 3月期予想 (2021/5/14)	業績予想比	
			増減	増減率(%)		増減	増減率(%)
売上高	35,361	31,497	3,864	12.3	33,500	1,861	5.5
営業利益	3,729	2,017	1,712	84.8	2,400	1,329	55.4
経常利益	3,610	1,823	1,787	98.0	2,200	1,410	64.1
法人税等	17	▲ 486	503	-	-	-	-
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,643	854	2,789	320.5	1,700	1,943	114.3

- ・ 中計で定めた施策遂行の成果により連結で増収増益
- ・ 第4四半期も堅調に推移し、業績予想を超える着地
- ・ 廣濟堂あかつき社売却により、関係会社株式売却損が税務上も実現

2 事業セグメント別業績サマリ

当社事業における市場概況

- ・ 情報：出版印刷の需要後退が継続。一方で官公庁・自治体のBPO関連ニーズが堅調
- ・ 人材：販売、飲食などの採用需要は低調ながら、製造、医療、建設などは回復傾向
- ・ 葬祭：火葬件数増も、コロナウイルス感染拡大による参列者減および葬儀簡素化が継続

(単位：百万円)

セグメント	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2022年 3月期	2021年 3月期	増減	増減率 (%)	2022年 3月期	2021年 3月期	増減差	増減率 (%)
情報	19,120	18,496	624	3.4	377	163	214	130.6
人材	6,856	4,663	2,193	47.0	341	▲ 65	406	— (黒字転換)
葬祭	9,384	8,333	1,051	12.6	3,083	2,437	646	26.5
調整額 等			0	—	▲ 73	▲ 519	446	
合計	35,361	31,497	3,864	12.3	3,729	2,017	1,712	84.8

※ 調整額等の増減要因：2021年10月1日の持株会社体制移行に伴い、当期下期よりグループ管理費用を各セグメントが負担するようになった為



- ・ 東京博善の完全子会社化（通期での影響）
- ・ 東京博善の火葬料金の改定（通期での影響）
- ・ 広済堂グループの連結納税効果



連結純利益の大きな改善へ

- ・ 第三者割当増資の実施（2021年12月公表 約75億円）

資金使途

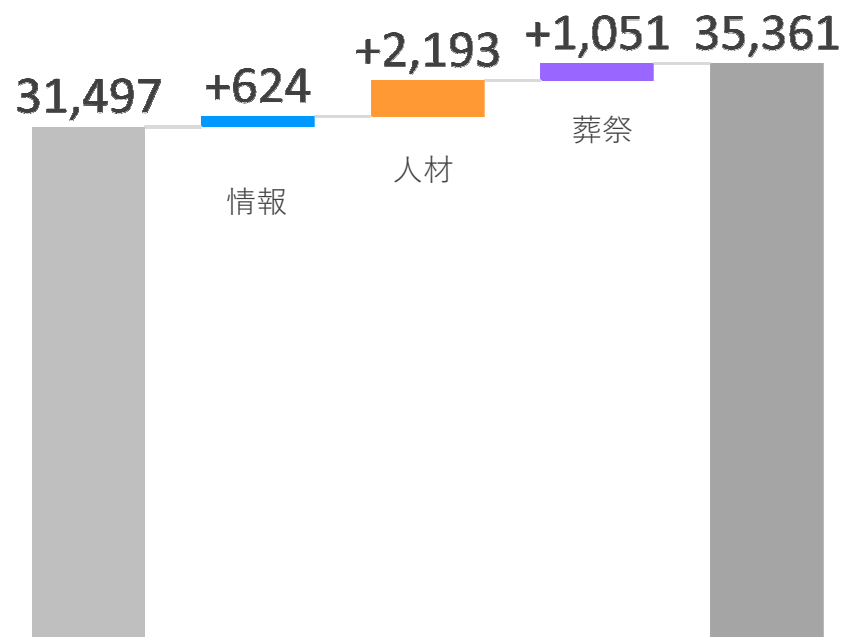
- 3事業セグメントへの事業投資
- 借入金の返済



更なる事業成長

安定的な財務基盤の構築へ

単位：百万円



情報セグメント

- ↓ 出版印刷：前年度のコロナ禍による書籍特需が落ち着き、加えてコミックス等の小ロット化傾向の影響大
- 商業印刷：広告・プロモーション案件が回復傾向
- ↑ BPO：官公庁・自治体案件受注により前年比増加幅拡大
- ↓ LEDエスコ：LED照明のコモディティ化等により苦戦

人材セグメント

- ↑ 求人媒体：製造業、医療介護業、人材サービス業などが回復傾向。一方で、販売・飲食などにおいて苦戦継続
- ↑ 人材派遣：コロナ関連業務および復調した製造系を取込み好調
2Qより株式取得した(株)エヌティの売上を組込む
- ↑ BPO事業：自治体関連案件などの受注により前期比で大幅増収

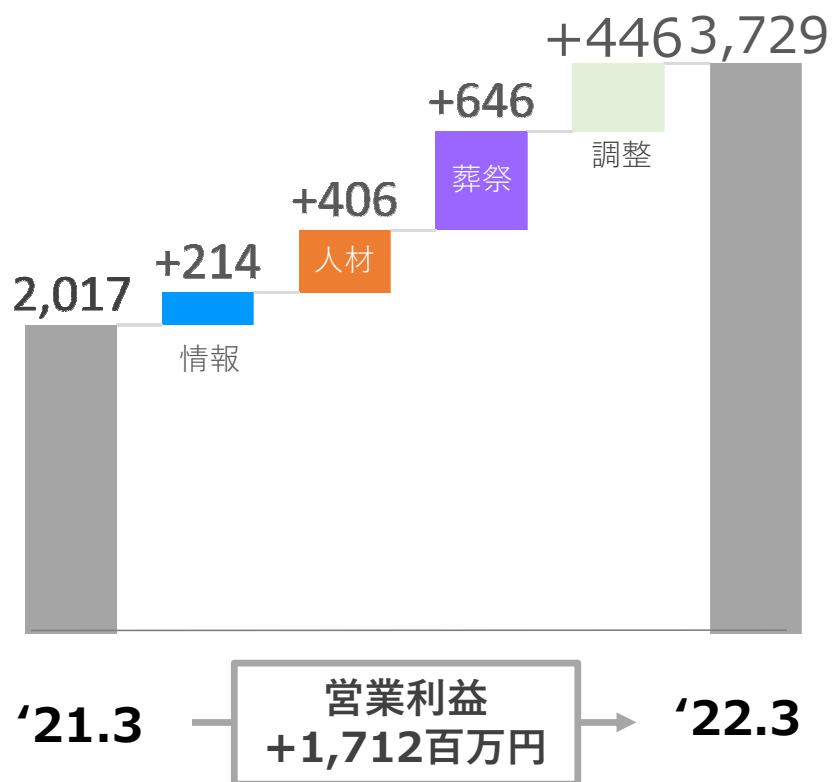
葬祭セグメント

- ↑ 火葬取り扱い件数は前年対比で緩やかな増加
- ↑ 火葬料金改定および友引日の営業実施により、火葬料の売上高が前年比で増加
- ↓ 葬儀の簡素化傾向が継続
- ↑ コロナ禍による参列者数の制限を1月より再開するも
休憩料・式場料・菓子飲料等が前年比増加、コロナ前水準に向け回復傾向

'21.3 → **売上高 +3,864百万円** → '22.3

増減率 **+12.3%**

単位：百万円

増減率 **+84.8%**

情報セグメント

- ↑ BPO：官公庁・自治体案件が堅調に推移
- ↓ 出版印刷：受注減に伴う利益減
- ↓ 印刷関連事業：印刷設備の入替は1Qで完了するも、2Q以降受注減からの作業量不足による稼働率低下が継続
- ↑ 西日本：コロナ関連の自治体案件の好調継続、豊中工場閉鎖による利益率改善効果

人材セグメント

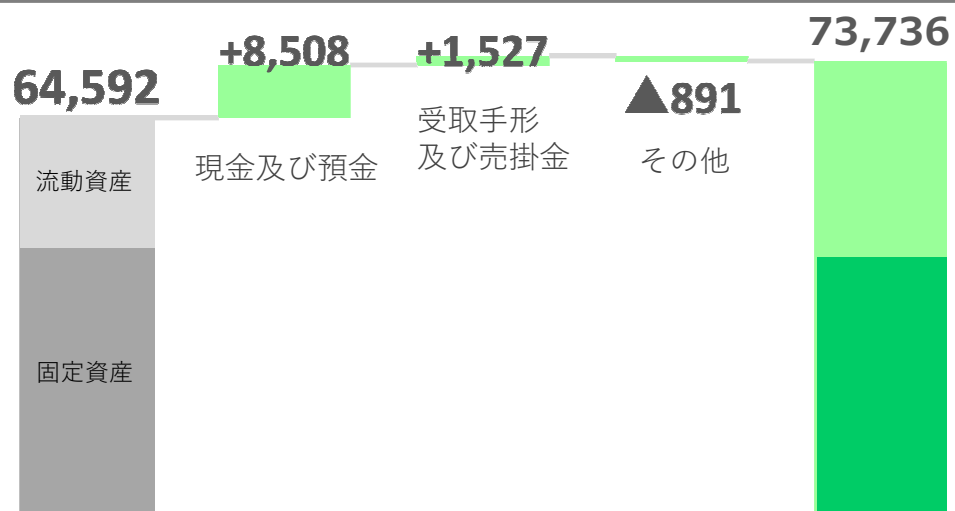
- ↑ 求人媒体：HRテック商材（採用管理システム）を主軸とした収益構造の改革が進み利益率改善
- ↑ 人材派遣・BPO：コロナ関連業務を取込み堅調に推移
BPO関連の原価増加も、売上増に伴い営業利益増加
- ↑ 人材紹介：コロナ禍からの回復傾向に伴い、前年比で良化

葬祭セグメント

- ↑ 売上増に伴う営業利益増加
- ↑ 修繕費の最適化による原価低減
- ↓ 葬儀の簡素化傾向が継続

単位：百万円

資産の部



'21.3 → 資産 +9,144百万円 → '22.3

内訳	21.3	22.3	増減
流動資産	21,364	31,350	9,986
固定資産	43,214	42,380	▲834
繰延資産	14	5	▲9

資産：増加
主な要因：現金及び預金の増

負債・純資産の部



'21.3 → 負債・純資産 +9,144百万円 → '22.3

内訳	21.3	22.3	増減
流動負債	13,109	17,492	4,383
固定負債	19,860	18,723	▲1,137
純資産	31,622	37,520	5,898

負債：増加
主な要因：借入金の増

純資産：増加
主な要因：第三者割当による増資、当期純利益の計上

2022年度 配当予想

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2021年度 実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭
2022年度 予想 (2022年5月16日)	7円75銭	7円75銭	15円50銭

「中期経営計画2.0」（2022年5月21日詳細公表予定）に基づき、
2022年度から復配（配当性向15%）し、2023年度以降は、
安定して配当性向30%の継続を目指していきたい

2022年度 業績予想

(単位：百万円)

	通期予想	前期（今回発表）	前期比	前期差
売上高	37,800	35,361	106.9%	+2,439
営業利益	3,800	3,729	101.9%	+71
経常利益	3,700	3,610	102.5%	+90
税引前当期純利益	3,690	3,627	101.7%	+63
法人税等	740	17	4,352.9%	+723
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,950	3,643	81.0%	▲693

- 2022年度は、2024年度の大きな事業成長に向けた“種まき”の年となり利益面では、微増にとどまる（詳細は2022年5月21日の中計説明会にて）
- 前期のような税負担軽減は見込まない為、最終利益においては減益の見通し

課題認識

- ✓ 資材高騰・エネルギーコスト上昇 ⇒ 更なる効率化の必要性
- ✓ 持株会社体制の効果最大化 ⇒ 各事業の競争力強化。確実な成長軌道へ

補足資料：資源価格等高騰の影響について

■東京博善株式会社 | 葬祭セグメント

「燃料費特別付加火葬料」の設定

- ・ 従前の火葬料とは別となる、ガスや電気の原料・燃料調整費に沿ったサーチャージ型の隔月変動型料金
(⇒ 2022年6月1日のご火葬取り扱い分より開始)

■株式会社広済堂ネクスト | 情報セグメント

得意先および仕入先との交渉

- ・ 特に印刷事業において、得意先への適正な価格転嫁、仕入れ先との適正な価格交渉を実施



人生100年をもっと豊かに



KOSAI DO GROUP

広済堂ホールディングス

<https://www.kosaido.co.jp/>



広済堂ホールディングス 中期経営計画 2.0（2022－2024）

2022/5/20

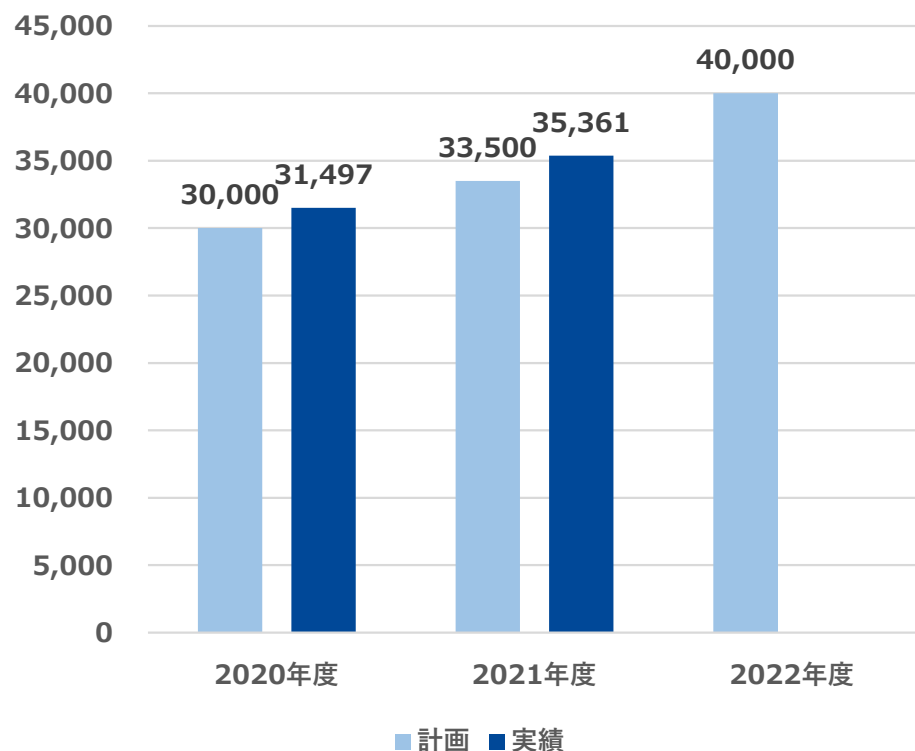
広済堂グループは

シニア・エンディング
ナンバー1企業になります

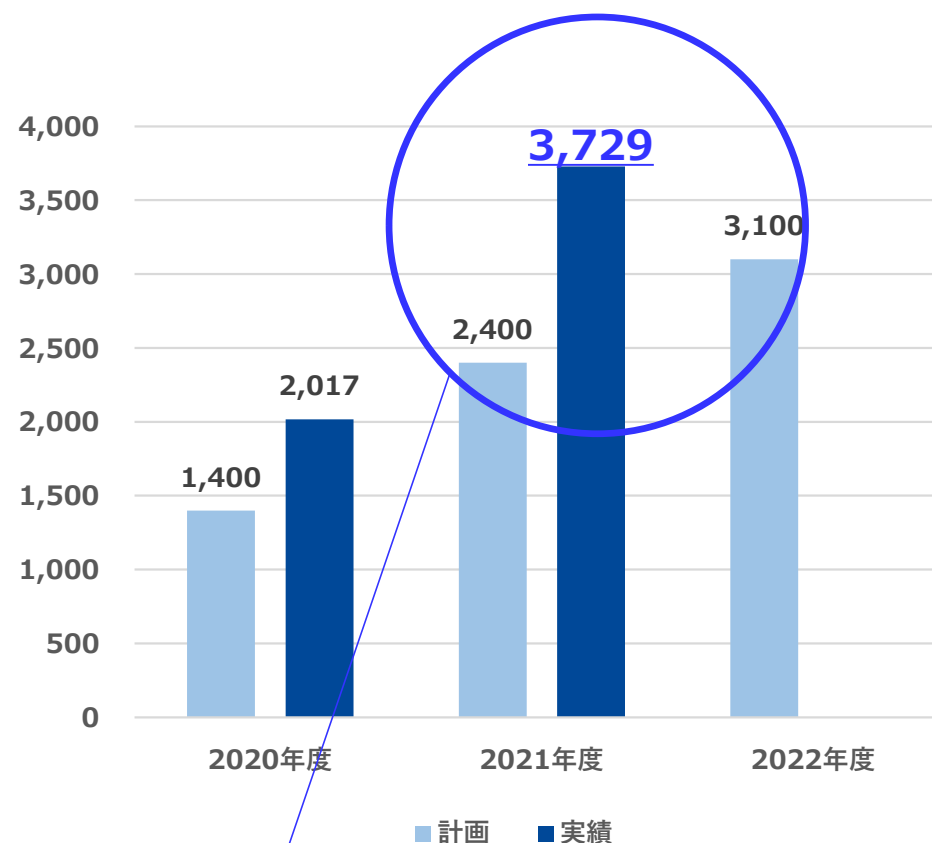
1-01 前回中期経営計画の振り返り① | 連結業績

単位：百万円

売上高



営業利益



営業利益は、**2022年度目標を前倒しで達成**

※ 2020年度および2021年度の計画は、該当年度の業績予想値です

改革成功！

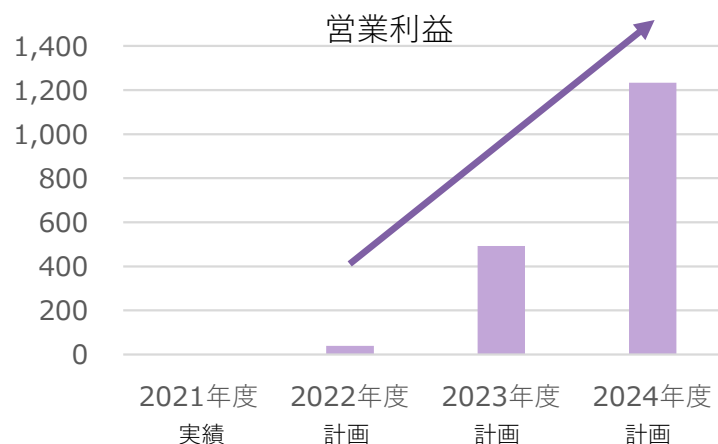
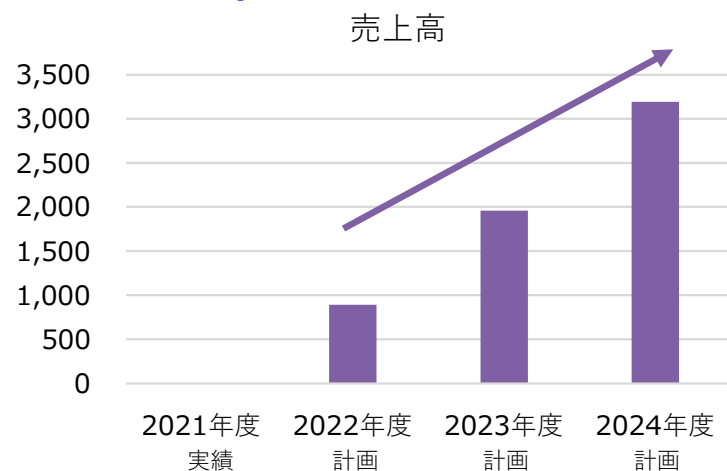
- ✓ 減損の終了
- ✓ 東京博善100%子会社化
- ✓ HD化による全体財務の統合

基本方針

1. 葬儀業に進出します
2. 「超高齢化社会」銘柄への脱皮
3. 復配し、株主還元の実施を向上を実施します

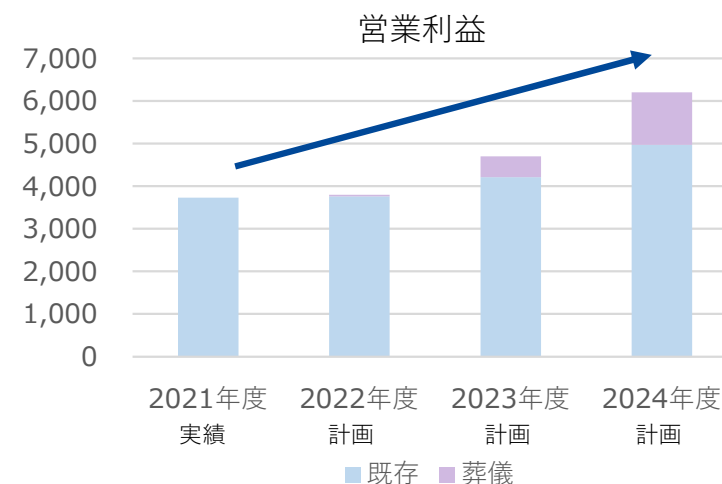
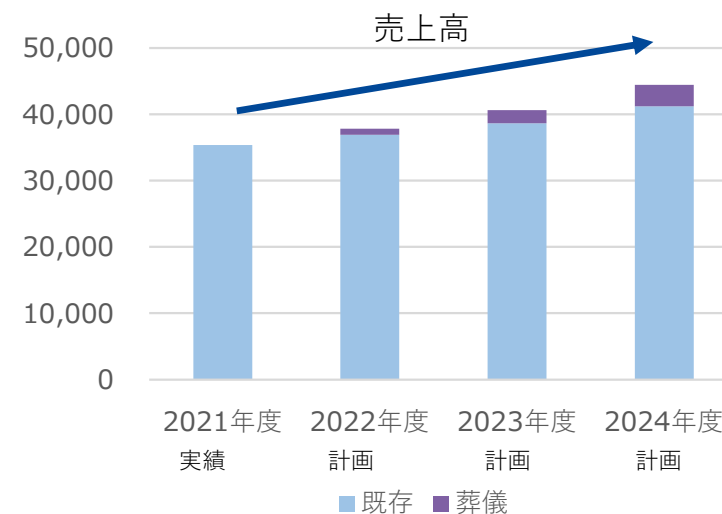
3 成長イメージ | 中期経営計画2.0

■ 既存敷地内 葬儀ビジネス



■ 広済堂グループ

単位：百万円



既存敷地外葬儀ビジネスの立ち上がり等に応じ、上方修正の都度改めて中期経営計画2.1、2.2…として開示してまいります

4 事業セグメントサマリ (既存3事業)

単位：百万円



葬祭セグメント

- ✓ 高齢化による自然増収
- ✓ 友引、早朝、夕方の営業時間延長

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	9,970	10,835	11,600
営業利益	3,340	3,480	3,880



情報セグメント

- ✓ 減損終了！
- ✓ 安定した印刷を着実に伸ばします

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	19,570	19,680	19,770
営業利益	1	80	140



人材セグメント

- ✓ 特定技能ビザ事業
- ✓ HRテック「タレントクリップ」
- ✓ 着実な営業、Webサイト改良

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	7,370	8,125	9,840
営業利益	110	400	700

既存3事業合計

(※営業利益には「調整額等」を含む)

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	36,910	38,640	41,210
営業利益	3,760	4,210	4,970

5

まとめ

単位：百万円

		2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
既存3事業	売上高	36,195	35,088	31,497	35,361	36,910	38,640	41,210
	営業利益	2,250	2,328	2,017	3,729	3,760	4,210	4,970
葬儀事業	売上高	0	0	0	0	890	1,960	3,190
	営業利益	0	0	0	0	40	490	1,230
合計	売上高	36,195	35,088	31,497	35,361	37,800	40,600	44,400
	営業利益	2,250	2,328	2,017	3,729	3,800	4,700	6,200
	経常利益	1,637	2,210	1,823	3,610	3,700	4,800	6,300
	税前利益	499	△1,289	349	3,627	3,690	4,800	6,300
	法人税	493	731	△486	17	740	1,050	1,500
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	△324	△2,671	854	3,643	2,950	3,750	4,800
配当	配当金額	-	-	-	-	443	1,125	1,440
	配当性向	-	-	-	-	15%	30%	30%

単位：百万円

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
当期純利益	△2,671	854	3,643	2,950	3,750	4,800
EBITDA	4,594	3,980	5,501	5,600	6,700	8,200
期末総資産	82,190	64,592	73,736	72,000	73,000	74,500
成長投資	-	-	-	3,050	1,500	2,000
キャッシュ期末残高	25,727	13,093	21,597	16,597	14,897	13,647
期末有利子負債*	27,995	24,982	28,301	24,350	22,300	17,800
自己資本比率	37.6%	48.8%	50.7%	55.1%	58.4%	65.5%
負債圧縮額*	△8,037	3,013	△3,319	3,951	2,050	4,500
目標配当金額	-	-	-	443	1,125	1,440
目標配当性向	-	-	-	15%	30%	30%

*... こちらの有利子負債には、借入金および社債のみが含まれます

7-01 長期展望 | シニア・エンディング領域 事業展開

東京博善 (火葬場運営・式場提供)

葬儀業への進出

実施

 グランセレモ東京

 広済堂ライフウェル

来場者向
金融・法務
サービス

準備

火葬場の横展開

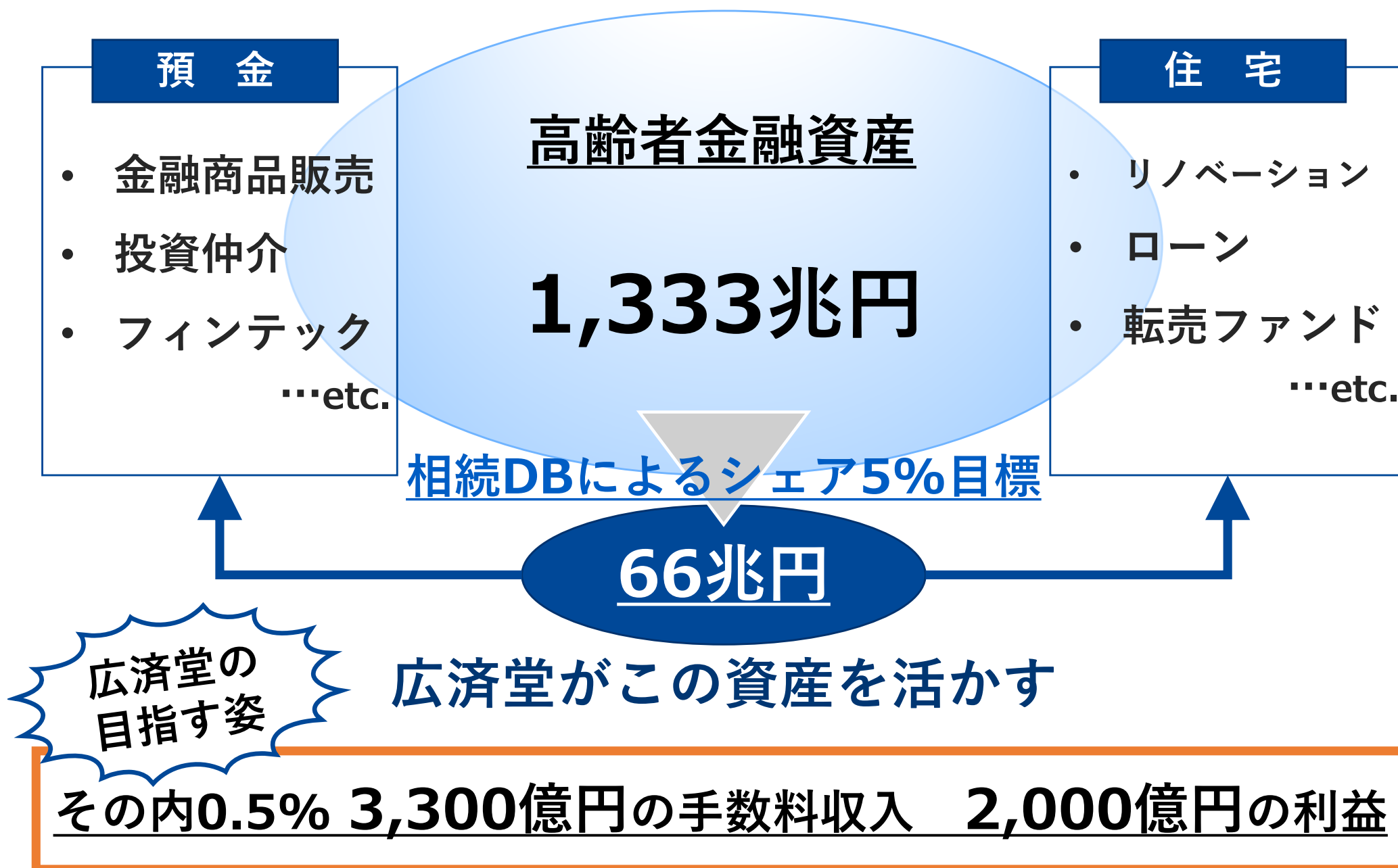
準備

火葬炉の輸出

準備

今回中計のターゲット

7-02 葬祭セグメントの長期展望





人生100年をもっと豊かに



KOSAI DO GROUP

広済堂ホールディングス

<https://www.kosaido.co.jp/>